

環境科学院 地球圏科学専攻

修士論文公開発表会プログラム

【第1日目】 平成23年2月9日（水）

●座長：的場 澄人（雪氷・寒冷圏科学コース助教）

13：00－13：20 杉立 卓治 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「気候監視のための高層気象観測用水蒸気センサの開発」

13：20－13：40 大嶋 彬 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「予測可能性から見た Local Ensemble Transform Kalman Filter の性能調査
－大気大循環モデルを用いて－」

13：40－14：00 金浜 幸治 （物質循環・環境変遷学コース）
「北太平洋亜寒帯域の生物生産に果たす粒子態鉄の役割」

14：00－14：20 城間 紀孝 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「南西諸島における強雨の長期変動に関する研究」

<15分休憩>

●座長：渡辺 悌二（陸圏環境科学コース教授）

14：35－14：55 刀根 賢太 （雪氷・寒冷圏科学コース）
「ネパールヒマラヤ・ヤラ氷河における近年の氷厚および流動変化」

14：55－15：15 平野 和也 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「成層圏突然昇温に伴う空気塊の経路変化」

15：15－15：35 大角 光司 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「ドップラーレーダと面相関法を用いた海氷移動ベクトルの算出と
海氷域の風の抵抗係数の直接観測」

15：35－15：55 森 文洋 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「PIV法を用いた接地境界層における乱流構造の把握」

【第2日目】 平成23年2月10日（木）

●座長：関 宰（物質循環・環境変遷学コース准教授）

9：10－9：30 柏瀬 陽彦 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「オホーツク海における海氷生産量の長期変動に関する研究」

9：30－9：50 杉本 風子 （雪氷・寒冷圏科学コース）
「ドリル法と電磁誘導法より得られる海氷厚から海氷上の積雪深を
推定する方法について」

9：50－10：10 遊木 宏和 （物質循環・環境変遷学コース）
「ポット実験における植物の光合成時の炭素・酸素同位体分別」

10：10－10：30 三原 草介 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「理想的な設定の海洋 GCM における亜熱帯反流：混合層分布の影響」

< 10 分 休 憩 >

●座長：山下 洋平（物質循環・環境変遷学コース准教授）

10：40－11：00 寺尾 建哉 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「東部熱帯太平洋における下層雲変動の力学的要因に関する研究」

11：00－11：20 中山 達矢 （雪氷・寒冷圏科学コース）
「北方林における雪面 CO₂ フラックスの研究」

11：20－11：40 向笠 康二郎（大気海洋物理学・気候力学コース）
「オホーツク海沿岸に発生する様々なスケールの渦状擾乱の
検出および構造と成因」

11：40－12：00 伊藤 諒 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「複雑地形の風下の気流構造が筋状エコーの発生に及ぼす効果」

< 昼休み 12：00－13：00 >

●座長：三寺 史夫（大気海洋物理学・気候力学コース教授）

13：00－13：20 何 楠楠 （物質循環・環境変遷学コース）

「Chemical Compositions, diurnal changes and sources of atmospheric aerosols collected at Mangshan site, north of Beijing」
（北京市郊外・マンシャンにおける大気エアロゾルの化学組成、日周変化と起源）

13：20－13：40 島村 誠 （雪氷・寒冷圏科学コース）

「防雪林の林帯構造と防風防雪機能の関係」

13：40－14：00 對馬 あかね（雪氷・寒冷圏科学コース）

「アラスカ・オーロラピークアイスコアの化学解析による
過去 274 年間の環境変動復元」

14：00－14：20 本間 有慈 （大気海洋物理学・気候力学コース）

「熱帯の季節内振動に伴う東アジア域の降水変動の解析」

14：20－14：40 藤吉 麗 （物質循環・環境変遷学コース）

「植物体内の硝酸イオン(NO_3^-)動態」

<15分休憩>

●座長：川島 正行（大気海洋物理学・気候力学コース助教）

14：55－15：15 田内 裕人 （大気海洋物理学・気候力学コース）

「全球降水マップ GSMaP による降水強度場の特性と誤差要因に関する研究」

15：15－15：35 中山 佳洋 （大気海洋物理学・気候力学コース）

「ケープダンレー沖における南極底層水の形成と流動に関する数値的研究」

15：35－15：55 武内 祐樹 （大気海洋物理学・気候力学コース）

「クリル海峡における拡散係数の時間変化効果に関する研究」

15：55－16：15 藤原 真太郎（物質循環・環境変遷学コース）

「夏季富士山頂におけるエアロゾル中の低分子ジカルボン酸組成と
生成過程に関する研究」